

平成27年度 国土交通省との意見交換会

(一社)全国土木施工管理技士会連合会(以下「連合会」という)は、平成27年11月30日(金)東京都内において、国土交通省(以下「国交省」という)との意見交換会を開催した。

国交省からは、池田技術審議官はじめ中神技術参事官、阿部技術調査官、五道技術調査課長他、多数の幹部の方が出席された。

冒頭、連合会の谷口会長と国交省の池田技術審議官のご挨拶があった。



国土交通省 池田技術審議官

谷口会長は、「現場は多種多様でさまざまな課題があり、官民が役割を分担して課題に取り組むべきで、官民連携と現場力の2つが重要だ」と強調。官民のコミュニケーションを向上させて最適解を求められるようなマネジメントが必要だと述べた。

池田審議官は、「今後、メンテナンスや災害対応のための需要は増える。建設分野の需要が増えたときに、きちんと受け止められる企業体制が必要だ。」と強調され、また意見交換会を通じて現場の声を聞かせてほしいと述べられた。

今回、連合会からの提案事項として、若手技術者の入職・定着に向けて、大学在学



中に1級技術検定の学科試験を受験可能にする受験時期の早期化と学科試験合格後の学科免除期間の延長を提案。また、連合会で実施した「2015年現場技術者アンケート結果」を踏まえ、「書類の簡素化」では、技術者不足から一人当たり処理量が増えていることから、施工段階でのコンサルタントの関与を増やすとか、書類の「提出」と「提示」の更なる削減を求めた。「設計変更」においては、「照査」と「変更」の区分を明確にし、変更に要する費用を計上出来るよう求めた。このほか情報共有システムの活用及び設計変更審査会などの資料作成の負担減について提案し、討議された。



連合会 谷口会長

国交省からは、公共事業を取り巻く情勢や最近の動向等についての説明が行われ、連合会の提案事項に触れながら、現在、取り組んでいる施策や今後、推進していく取り組み等について紹介された。

*「平成27年度国交省との意見交換会」資料は、当会のホームページに掲載しています。

http://www.ejcm.or.jp/new_sonohoka/08iken-r2.html